

## 第6回理事会（平成26年度第1回）議事録

公益財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成26年7月26日（土）13：00～15：00
2. 場 所： 横浜中華街 順海閣 1階
3. 出席理事： （会長）河野 太郎  
（副会長）佐藤 嘉彦、片 忠夫、山田 カ  
（専務理事）上田 英之  
（常務理事）木村 徳善、岡田 良平、森本 珠水、  
（理事）国島 みどり、高柴 一彦、青木 文明、本田 衛義、金子 理人、  
小池 光、佐々木 生道、中村 浩人、  
佐藤 博一、藤田 浩介、吉野 大成、和田 幸一  
（オブザーバ）腰高 豊、中田 圭、伊藤 英樹  
欠席理事： （常務理事）吉岡 去私、（理事）橋本 秀直、酒井 祐一郎、伊藤 敏光
4. 出席監事： 内海 雄三、井上 敏郎、（オブザーバ）加藤 国夫、勝又 敬夫
5. 議長： 定款により河野 太郎 会長が議事進行をする。
6. 議事録署名人選出：河野 太郎会長、内海 雄三監事、井上 敏郎監事を選出
7. 書記： 桂林 正彦 広報委員を指名
8. 議 事

会長挨拶 お忙しい中ご参集いただきましてありがとうございます。今日、スキーの会合に出掛けると言ったら、小学生の息子に「35℃の中スキーの会合にでかけるの？」と言われましたが、夏の間に準備をしてシーズンを迎えたいと思います。今日は暑い中ですが、しっかりとご議論のほどお願いします。

### 1) 競技本部

#### (1) 報告事項

和田理事から以下の報告があり、了承された。

- ①競技本委会（2014年7月12日（土） 県連事務所にて開催。内容は別添資料のとおり。）

#### (2) 審議事項

- ①別添資料「平成26年度 競技本部事業計画」2. 7の「神奈川県ジュニアスキー大会」に、未就学児童と小学低学年を対象とした大会を追加の提案があり、承認された。

### 2) 教育本部

岡田本部長から、以下の報告があり、了承された。

#### (1) 報告事項

1. 教育本委会報告（別添資料 4 回開催）
2. 環富士スキー技術選の打合せを行った。（別添資料のとおり）

#### (2) 審議事項

岡田本部長及び各理事から、以下の提案があり、承認された。

1. 教育本部事業計画の日程変更、および事業名の変更。
  - ① 名称変更 「スキー認定指導員」「スノーボード認定指導員」を「認定スキー指導員」「認定スノーボード指導員」とする。
  - ② 認定スキー指導員検定の理論を、「レポート提出」から「検定会方式」とする。検定日を、2

日間から3日間とする。理論検定会を、2014年11月15日(土) 横浜市従会館にて実施、実技検定は、2015年3月6日(金)～8日とする。

③北海道ツアーのDコースを廃止する。詳細は別添資料参照。

2. 認定スキー指導員「認定スノーボード指導員」の規約規定制定  
「認定スキー指導員」「認定スノーボード指導員」の規約規定制定。合わせて外国人受検者に対応した規約規定制定。詳細は別添資料参照。
3. SAK スノーボードプライズテストについて  
SAK スノーボードプライズテストの規約規定および実施要領の制定を提案する。詳細は別添資料参照。
4. スノーボード技術強化指定選手指定カテゴリの追加について  
別添資料のとおり提案する。
5. SAJ スノーボード指導者の特別推薦について(事後承認)  
SAJ 教育本部スノーボード指導者規定 第25条特別合格による指導者資格推薦をする。  
山田一樹(やまだ かずき) 川崎スキー協会・「川崎スノーボードクラブ」(敬称略)

### 3) 総務本部

#### (1) 報告事項

木村総括常務理事および各理事から別添資料に示す以下の報告があり、了承された。

1. 慶弔関係(木村常務理事)  
相模原スキー協会 70周年記念式典 2014年6月14日(土)
2. 資金状況(2014年5月31日)(橋本理事)  
H25年度 現預金残高 7,689,500円(県体育協H26年前受金 1,300千円を含む)  
H25年度 予算(収支差額) 1,441,723円 \*H25 予算管理表による6,247,777円
3. 登録状況(金子理事)  
会員登録: 24年度確定 5144人に対して、25年度 5088人で60人程減少。  
団体登録: 24年度確定 252団体に対して、25年度 246団体でこちらも減少。
4. 各種委員会
  - ①電子申込委員会は、報告事項無し。
  - ②普及進行委員会(青木理事)  
7月4日に委員会を開催。11回行ってきたジュニアの方向性について再検討した。各協会で行なっていけるよう考えていく。このあと拡大理事長会議があるのでそこで現状を把握しながら進めていきたい。県連ホームページに、ジュニアのページを設けることも検討する。
  - ③協賛会員拡大委員会(本田理事)  
6月7日に、対象38社に協賛依頼の案内状を発送した。昨日(7月25日)現在で、6社から返事があり、順次請求書を送る。
  - ④個人情報保護委員会は、報告事項無し。
  - ⑤5HC委員会は、報告事項無し。
  - ⑥北海道委員会は、報告事項無し。
  - ⑦広報委員会(青木理事)  
時期が2週間ほど遅れたが、SAK だよりのWEB版を発行した。相模原70周年の掲載。
  - ⑧財務委員会 報告事項無し。
  - ⑨その他(木村常務理事)
    - ・本日開催予定の拡大理事長会議は、18名の出席の回答をもらっている。顧問参与代表者会議は、19名、理事が22名、理事長、協会長合わせて51名ほどで開催される。
    - ・評議委員会  
別添資料の「第3回定時評議委員会次第」に示した内容で行う。

## (2) 審議事項

木村常務理事および各担当理事から別添資料に示す以下の内容が提案され、“⑤「横浜スキー協会」及び「神奈川県スキー指導員会」の2団体への事務所の使用について”を、除いて了承された。

### ①平成25年度各本部事業報告（案）について

- ・上田専務理事より、別添資料の「平成25年度事業報告（案）」が説明された。  
会員の減少傾向は変わらないが、減少幅は小さくなっている。会計は、収支均衡で計画どおりである。寄付について調査した結果、寄付金の使途を指定するような制度を検討する。
- ・木村常務理事より、別添資料の「総務本部報告（案）」が説明された。
- ・岡田本部長より、別添資料の「教育本部報告（案）」が説明された。
- ・和田理事より、別添資料の「競技本部報告（案）」が説明された。  
国民体育大会で活躍した下村選手が、家の都合で北海道に帰ることになった。

### ②平成25年度決算報告について

- ・金子理事より、別添資料の「決算報告書」が説明された。

### ③平成26年度予算について

- ・金子理事より、別添資料の「収支予算書」が説明された。  
別添資料の「収支予算の事業別区分経理の内訳表」付記にあるように、収益事業の呼び方が変わった。「収益事業1 物品販売事業」および、「収益事業2 建物賃貸事業」を廃止し、「その他事業1 スキーを通じた共通な目的を達成するための事業」を設ける。収支計算書で30万プラスにしようとしたが、変更したものである。前回の理事会で議論された内容の結果である。

### ④「公益財団法人神奈川県スキー連盟の加盟団体等に関する規定」の改定について

- ・金子理事より、別添資料の「公益財団法人神奈川県スキー連盟の加盟団体等に関する規定の改定」が説明された。

### ⑤「横浜スキー協会」及び「神奈川県スキー指導員会」の2団体への事務所の使用について

- ・金子理事より、別添資料のとおり、本件審議事項が説明された。今まで上記2団体に県連事務所を管理費を分担し使用頂いていたが、公益財団法人移行時、これを収益事業として扱っていた。今回この内容が不適切であると考え、収益事業から外し、両者と「覚書」を交わすことが説明された。

### ⑥評議員の変更

- ・木村常務理事から、別添資料「評議員辞任に伴う評議員の変更」の説明があった。  
資料補足 35の選任欄が空欄になっているが「田代光弘」とする。

### ⑦SAK 総務、競技本部専門員の推薦について

- ・木村常務理事から、別添資料「SAK 総務、競技本部専門員の推薦について」の説明があった。

## (3) その他

### ①監査報告

- ・内海監事から、別添資料「平成25年度監査報告」の説明があった。  
さらに、井上監事から口頭で以下の説明があった。  
金銭面では、厳しい良い会計をしていただいた。交通費などは大きな額になるので今後も厳しく管理していただきたい。

②消費税について

上田専務理事)：基本は、県として消費税対応で値段をあげるが、どうしても事情がある場合は個々に検討してもらってよい。

質問(佐々木理事)：登録料はあげてないのでは。

回答(上田専務理事)：SAJに準ずる。

④平成26年度神奈川県 体育功労者表彰

体育功労者表彰の自薦他薦の提案があった。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成26年 月 日

議 長 印

議事録署名人 印

議事録署名人 印